南部町のいきものたち ㊸

ノビタキ（オス）

原にて

（撮影：桐原佳介）

「今年もノビタ君に会えた」。と言っても、漫画「ドラえもん」のキャラクターのことではありません。ノビタ君とは、スズメと同じくらいの小さな野鳥、ノビタキの愛称です。野鳥観察を趣味にしている方たちが、ノビタキをこのように呼んでいるのを聞いてから、私はノビタキに不思議な愛着を感じています。

私は、最初にこの町でノビタキを見かけた時、「ん？あの鳥はスズメじゃないぞ。」とあわてて自転車を止め、双眼鏡を構えました。レンズ越しに見えるその姿はとても地味で、かろうじて「もしかしたらノビタ君？」と分かりました。その後、毎年稲穂が垂れる季節に南部町で普通に会えることに気付き、今では私にとっての「秋告げ鳥」になっています。

秋に南部町にやってきた彼らは、越冬のために更に南へと渡ります。ノビタキにとって南部町は、道の駅やサービスエリアのようなところなのでしょう。南部町で過ごしているノビタキは、休耕田に生えた背の高い草の先によく止まっていますが、なぜか、人が畑の脇に立てた竹やプラスチックの支柱などの人工物にも好んで止まります。

秋のノビタ君は地味ですが、春になるとがらりと衣装が変わります。オスは、顔と背中が真っ黒になり、白いお腹に赤い前掛けが目立つおしゃれな姿になります。メスも、背中の色がより濃くなります。しかし、この色鮮やかな姿は、残念ながら町内では見ることができません。なぜなら、この頃の彼らは、中部地方以北から北海道の広大な湿原や牧草地などで子育てをしているからです。いつか、春の北国へと旅に出て、ヤナギランやニッコウキスゲのお花畑でさえずるノビタ君に会いたいな、と、思いを巡らせるのでした。

ノビタキのメス

自然観察指導員　桐原 真希

〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1　発行／南部町 企画政策課　☎(0859)66-3113　F(0859)66-4426
制作／NPO法人 なんぶSANチャンネル　☎(0859)66-3331
http://www.town.nanbu.tottori.jp　E・メール nanbusan@town.nanbu.tottori.jp
No.73
この印刷は大豆インキを使用しております。